

# 行政に対して私たちが望むこと


2グループ



もっとオープンで  
フレンドリーに  
なってほしい



# 医療・介護行政の取り組み・・・例えば

- ▶ 健康づくり、介護予防活動の推進  
サロン活動（お茶のみ、寄り合い、体操等）  
介護予防事業（百歳体操等）など
  - ▶ 医療・介護人材の確保・定着・育成  
（資格取得の支援、修学資金の貸付、奨学金返還額への補助、職員研修の開催、魅力発信パンフレットの作成・普及など）
  - ▶ 医療・介護連携事業  
（ケアカフェ、医療と介護の連携シート、認知症勉強会など）
- 

実際  
どんなことをしているのか  
分からない



行政がいろんな取り組みをしていても・・・



一人ひとりが、情報を知って、  
興味を持たないと  
何も変わらない!!

# 見えてきた課題

どこで、何を、  
どうすれば  
いいか分からない？

家族に情報をうまく  
伝えられない

行政(市・県・国)で、  
何をしているのか  
よく分からない

行政との情報交流  
が少ない

市内で開催される研  
修・意見交換会など  
が少ない

研修・意見交換会に  
は、若い人や家族  
(住民)が少ない

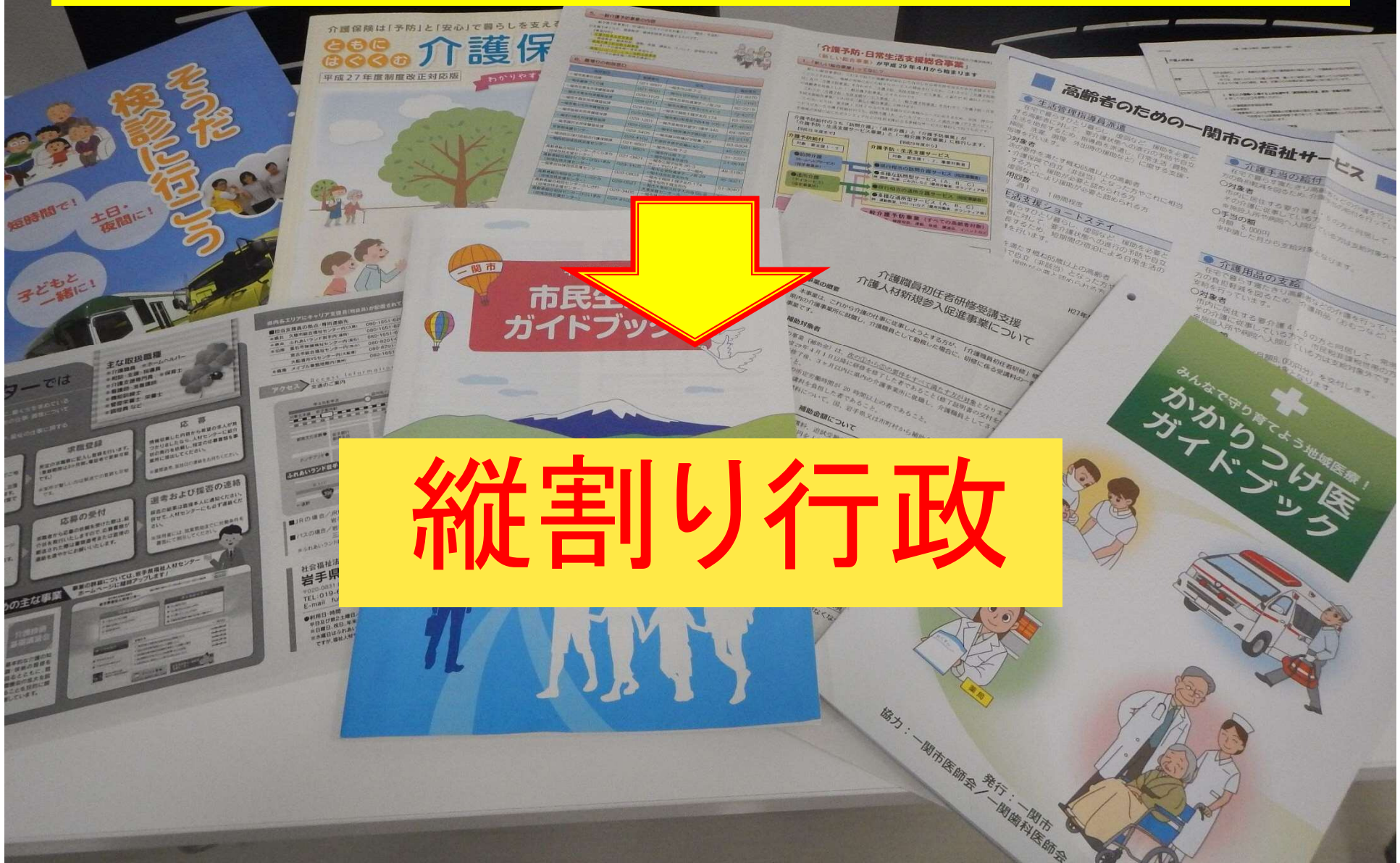
# 解決のために...

行政情報の  
一元化

積極的な情報  
発信

情報共有の場の  
充実

いろいろなパンフレットが存在する



縦割り行政



情報発信のために……  
パンフレットを作っても見る？

たぶん…

見ないし、聞かないと

よく分からない

と思う…



みんなでき軽に話す場が  
もっとあったらいいかなあ



地域住民、患者家族、現場スタッフ...  
とにかくみんなでわいわい話し合える場所

## ケアカフェの充実



今、行政が行っている集まりに  
家族の参加ってありますか？

ほとんどないのでは・・・？



# 家族が気軽に 参加できるためには...

- 実施時間帯の検討
- そのままの周知
- 要介護者を抱える家族が参加している間  
介護をしてくれる場所や人などの体制作り

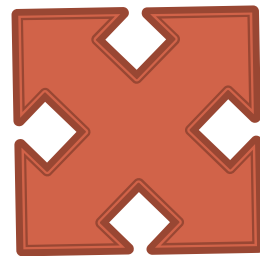


# ケアカフェに家族がくることで...

医療・介護職を  
知ってもらえる

行政の取り組みを  
知ってもらえる

入職の  
きっかけ



困ったときの  
の安心感  
信頼感

孤立感  
の解消

家族のニーズを  
把握できる

悩みを相談しやす  
くなる

# そのほか...行政に対して

- ▶ 福祉タウンページの作成(一冊で見ればすぐ分かるもの)
- ▶ 新しい情報は回覧版で回す
- ▶ 困った時の福祉ホットライン
- ▶ ケアカフェのアピールや開催方法の検討
- ▶ 観光地や道路、トイレの整備
- ▶ 市内での勉強会の開催(資格取得に必要なものも)
- ▶ 勉強会を開くための講師の要請、養成
- ▶ 動画学習(YouTube)で自宅学習ができる
- ▶ 空家の活用